

家族に新型コロナウイルス感染症が疑われるとき 家庭内で注意すべきこと

①部屋を分ける

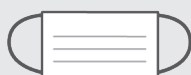
- 感染者は個室にする。部屋を分けられない場合は、2m以上の距離を保つか、仕切りやカーテンを設置し、寝る時は頭の位置を互い違いにする。
- 感染者は極力部屋から出ないようにして、トイレや風呂など共用スペースの利用は最小限に。



②感染者の世話は限られた人で

- 心臓、肺、腎臓に持病のある人、糖尿病の人、免疫の低下した人、妊婦などはなるべく避ける。

③できるだけマスクは家族全員がつける



- 感染者も家族もマスクをする。
- 使用したマスクは他の部屋に持ち出さない。
- マスクを外す際は、ゴムやひもをつまみ、マスクの表面には触れない。
- マスクを外した後は必ずせっけんで手を洗う（アルコール手指消毒剤でも可）。

④こまめに手を洗う



- 洗っていない手で目や鼻、口などを触らない。
- せっけんで30秒程度手洗いもしくはアルコール消毒を。

⑤換気をする



1時間に2回以上、1回につき数分間、窓を全開にして換気する。

⑥共用部分を消毒する

- 共用部分（ドアの取っ手やノブなど）は0.05%の次亜塩素酸ナトリウム（薄めた漂白剤）で拭いた後、水拭きするか、アルコールで拭く。
- トイレや洗面所はこまめに清掃する。市販の家庭用洗剤を使用して汚れを落とし、すすいだ後に、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用消毒剤を使う。
- 洗濯や食後の食器洗いを感染者のものとは分ける必要はなく、タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは通常の洗濯や洗浄をする。ただし、洗浄前のものは共用しない。特にタオルは共用しないように注意。



⑦汚れた寝具や衣類を洗濯する

寝具や衣類を洗う時は、手袋、マスクをつけて洗濯機に入れ、家庭用洗剤を使って洗濯し完全に乾かす。



⑧ごみは密閉して捨てる

鼻をかんだティッシュなどは、すぐにビニール袋に入れ、室外に出す時は密閉して捨てる。その後は直ちにせっけんで手を洗う。



詳しくはこちらから

厚労省 家庭内での注意事項

検索

出典：厚生労働省「新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項（日本環境感染学会とりまとめ）」

